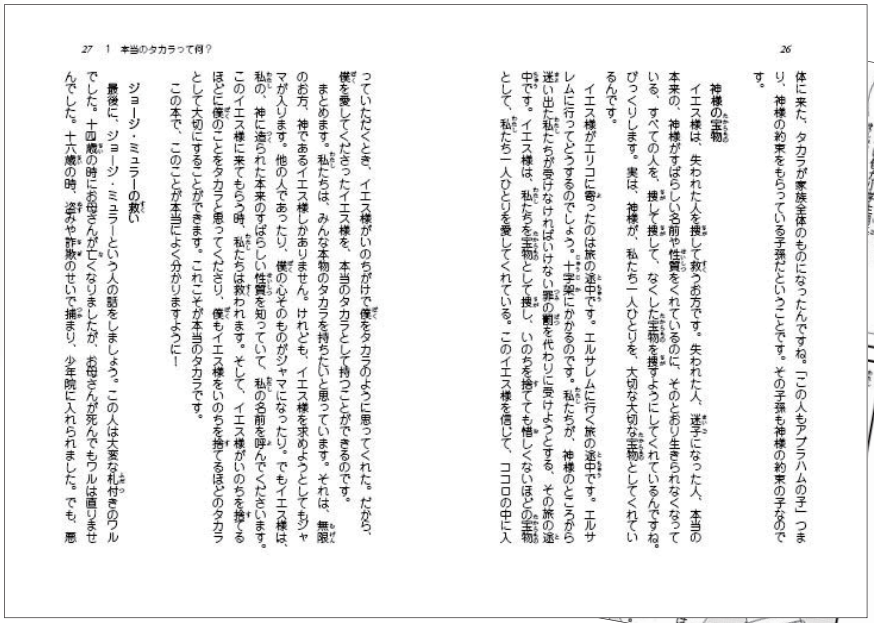
ココロでさがそう！
ぼくらのタカラ

櫛田信 著

子どもキャンプで語られた４回のメッセージを書籍化。導入部分に漫画を用いるなど、伝えるための工夫が随所に盛り込まれており、児童伝道・ユース伝道にもそのまま使える。CS 教師やユースパスターが語るためのヒントとしてもオススメ。



26

体に来た、タカラが家族全体のものになったんですね。「この人もアブラハムの子」つまり、神様の約束をもらっている子孫だということです。その子孫も神様の約束の子なのです。

神様の宝物

イエス様は、失われた人を捜して救うお方です。失われた人、迷子になった人、本当の本来の、神様がすばらしい名前や性質をくれているのに、そのとおり生きられなくなっている、すべての人を、捜して捜して、なくした宝物を捜すようにしてくれているんですね。びっくりします。実は、神様が、私たち一人ひとりを、大切な大切な宝物としてくれているんです。

イエス様がエリコに寄ったのは旅の途中です。エルサレムに行く旅の途中です。エルサレムに行ってどうするのでしょう。十字架にかかるのです。私たちが、神様のところから迷い出た私たちが受けなければいけない罪の罰を代わりに受けようとする、その旅の途中です。イエス様は、私たちを宝物として捜し、いのちを捨てても惜しくないほどの宝物として、私たち一人ひとりを愛してくれている。このイエス様を信じて、ココロの中に入っていただくとき、イエス様がいのちがけで僕をタカラのように思ってくれた。だから、僕を愛してくださったイエス様を、本当のタカラとして持つことができるのです。

まとめます。私たちは、みんな本物のタカラを持ちたいと思っています。それは、無限のお方、神であるイエス様しかありません。けれども、イエス様を求めようとしてもジャマが入ります。他の人であったり、僕の心そのものがジャマになったり。でもイエス様は、私の、神に造られた本来のすばらしい性質を知っていて、私の名前を呼んでくださいます。このイエス様に来てもらう時、私たちは救われます。そして、イエス様がいのちを捨てるほどに僕のことをタカラと思ってくださり、僕もイエス様をいのちを捨てるほどのタカラとして大切にすることができます。これこそが本当のタカラです。

この本で、このことが本当によく分かりますように！

ジョージ・ミュラーの救い

最後に、ジョージ・ミュラーという人の話をしましょう。この人は大変な札付きのワルでした。十四歳の時にお母さんが亡くなりましたが、お母さんが死んでもワルは直りませんでした。十六歳の時、盗みや詐欺のせいで捕まり、少年院に入れられました。でも、悪

27　1　本当のタカラって何？

こどもキャンプのスキットがもとになった漫画▼

B6判 100頁 定価880円（本体800円＋税）
ISBN978-4-264-04359-1 C0016
いのちのことば社　卸コード18830